

アバステン + mFOLFOX6療法

FN 低:催吐性 中

診断名:再発大腸癌

○投与スケジュール (1コース 28日)

Day1、15(点滴):アバステン div 5mg/kg

Day1、15(点滴):エルプラット(L-OHP) div 85 mg/m²

Day1、15(点滴):レボホリナート(I-LV) div 200 mg/m²

Day1、15(点滴):フルオロウラシル div 400 mg/m²

Day1~2、15~16(持続静注):フルオロウラシル continuous civ 2400 mg/m²(全体量)

Day2~Day3、Day16~Day17(内服):テカロン 8mg 分2朝・昼の内服

○注意事項

アバステンによる有害事象

高頻度:高血圧、蛋白尿、粘膜出血(鼻、歯肉、膣)

頻度が少ないが重篤なもの:

消化管穿孔、創傷治癒遅延、がんからの出血、

血栓症(心筋梗塞、脳梗塞、深部静脈血栓症)

可逆性後白質脳症症候群

ブドウ糖液の混合でアバステンの効果減弱が生じるおそれがある。

アバステン投与後もインフュージョンリアクションに注意し観察すること。

アナフィラキシー注意。

★エルプラット注:アレルギー発現注意!! 累積投与量が 401mg/m² 以上 or 半年以上休薬あり再投与する場合は重篤なアレルギー反応を惹起する可能性あり。再投与の意義がリスクを上回ると考えられる場合は、前投薬の強化などを考慮する。

<強化例>前投薬①にガスター注 20mg+ポララミン注 5mg を追加